

2015年12月7日

## 「消費生活アドバイザー資格制度創設35周年記念 企業・功労者 経済産業大臣表彰」受賞について

第一生命保険株式会社(社長:渡邊 光一郎)は、このたび「消費生活アドバイザー資格制度創設 35 周年記念 企業・功労者 経済産業大臣表彰(以下消費生活アドバイザー資格功労者)」を受賞しました。

当社は、経営理念として「お客さま第一主義『一生涯のパートナー』」を掲げ、お客さま本位の経営を徹底しており、その推進のために消費生活アドバイザーの養成を継続してきました。受験希望者への教材の提供や、社内外講師による学習講座の開催、論文添削や模擬面談等を継続して実施し、2005年当時78名の登録者数が2015年には332名となりました。また、資格所有者への消費者教育教材としてのゲーム開発時の意見聴取や、わかりやすい通知・資料を提供するための消費者視点での改善等の取組みが認められ、消費生活アドバイザーの能力を活用した企業として受賞となりました。

12月7日(月)に東京都内にて表彰式が行われ、経済産業大臣の表彰状が贈呈されました。

消費生活アドバイザー資格制度は、消費者と企業や行政の架け橋として、消費者からの提案や意見を企業経営ならびに行政等への提言に反映させるとともに、消費者の苦情相談等に対して迅速かつ適切なアドバイスが実施できるなど、幅広い分野で社会貢献を果たす人材を養成することを目的とし、1980年に創設されました。

消費生活アドバイザー資格功労者表彰は、消費生活アドバイザーの能力を活用した企業並びに消費生活アドバイザーとして消費者起点の商品(製品)またはサービスの開発・改善に貢献した個人、消費生活アドバイザー制度の普及・発展に尽力し、制度の社会的認知度、質的向上等に著しい貢献をした個人に対して授与されるもので2005年以来10年ぶりに実施されたものです。

なお、当社特別顧問の森田 富治郎も一般財団法人日本産業協会の会長として制度の普及・発展に尽力し、2013年度1,495名と減少傾向にあった受験者数を、2015年度には2,332名と大幅増加に導くなど、著しい貢献をしたとして経済産業大臣表彰を受賞しました。

消費生活アドバイザーの能力を活用した事例	
品質諮問委員会	消費者の視点からご意見をいただくことを目的に「品質保証推進専門委員会」の諮問機関として2006年に「品質諮問委員会」を設置しました。消費生活アドバイザーの方などより構成される諮問委員に、「品質保証推進専門委員会」で検討された課題などについて諮問し、各委員からいただいたご意見などを業務改善に反映させています。
消費者モニター制度	消費者の皆さまからご意見をいただくために、1984年から「消費者モニター制度」を運営しています。消費者問題の有識者、消費生活センターの相談員、消費生活アドバイザーの方々などに消費者モニターとしてご協力いただき、全国の主要都市において懇談会を開催しています。
お客さま向け通知・資料の改善	お客さまにお渡しする通知やパンフレット等の資料について、消費者の立場からわかりやすい資料となるよう、消費生活アドバイザーが所属する部署にて改善を指導しています。
消費者教育教材「ライフサイクルゲームⅡ」(※)の開発	ゲーム開発にあたり、盤面レイアウト、人生において想定されるリスクの内容、消費者被害事例や消費者として知っておきたい知識のクイズ問題など、社内外の消費生活アドバイザーに意見聴取を実施しました。 ※(公財)消費者教育支援センターの第8回消費者教育教材資料最優秀賞を受賞しました。

当社は、第一生命独自の価値創造経営である「DSR 経営(※)」によって、お客さまお一人おひとりに最高峰の安心のお届けと健康な人生のサポートを行うべく、更なる挑戦を続け、持続的な成長の実現を目指します。

※「DSR」とは、一般的なCSR(企業の社会的責任)という言葉の枠に収まらない当社独自の取組みについて、「DSR=Dai-ichi's Social Responsibility (第一生命グループの社会的責任)」と表現したものです。